

網袋を使用したアサリ増殖試験

南薩地域振興局 林務水産課

【背景・目的】

平成24年度の全国青年・女性漁業者交流大会で農林水産大臣賞を受賞した三重県の「浦村アサリ研究会」のアサリ養殖の取組で報告のあった網袋を使用した天然採苗方式によるアサリ増殖・養殖の取り組みは、近年、鹿児島県内各地で盛んに行われるようになってきた。

南九州市管内においても、水質浄化や潮干狩りによる観光客の誘致（ブルーツーリズム）を目的とし、平成28年度から聖ヶ浦地区（図1，2）において天然採苗方式によるアサリ増殖試験を実施している。

【普及の内容・特徴】

増殖試験は、南九州市水産振興会及び南九州市と連携しながら南九州市水産振興会事業として実施した。アサリ増養殖試験で県内でも特に成果が見られている鹿児島湾奥部の手法を参考にして、網袋についてはサイズが60cm×60cm、目合いが4.5mmのものを使用し、中に入れる基質には海砂採取業者から無償提供してもらったユリカス（貝殻混じりの砂利）を使用した。（図3）。

平成29年度は、平成28年10月18日に設置した網袋10基の定期的な設置状況調査とアサリの採苗状況の確認調査を行い、調査結果をもとに3月に新たな網袋の設置作業を行った。

【成果・活用】

① 網袋の定期的な設置状況調査（図4）

聖ヶ浦に設置した網袋10基について、2ヶ月おきに埋没・流失状況のチェックを行い、埋没していた際は掘り起こして再設置を行った。なお、10月の調査時には2基が流失しているのが確認された。

② アサリ採苗状況確認調査（図5，6，7）

4月27日と10月6日の2回、設置していた網袋を全て開封してアサリの採苗状況の確認を行った。

4月27日の調査では網袋10基からアサリは全く確認されなかったが、10月6日の調査では網袋8基から計18個体（1基あたり最大5個体、平均2.25個体）のアサリを確認することができた。

③ 網袋と親貝の追加設置（図8）

アサリ発生状況確認調査の結果を踏まえ、アサリの採苗効率を向上させるため、3月20日に春産卵に寄与できると思われる殻長30mm以上の大型アサリを30個体ずつ入れた網袋2基を既設の8基の傍に設置した。

【その他】

28年度の網袋設置前の事前調査と4月27日の採苗状況確認調査ではアサリが全く確認できなかったものの、10月6日の採苗状況確認調査ではアサリの採苗を確認できたことから、聖ヶ浦地区はアサリの生息が可能な環境であることが示唆された。

今後も採苗状況や成長を確認しながら網袋の設置作業を進めていく予定である。



図1 設置箇所 (南九州市聖ヶ浦)



図2 聖ヶ浦



図3 貝殻混じりの砂利を入れた網袋



図4 網袋設置状況



図5 アサリ採苗状況調査

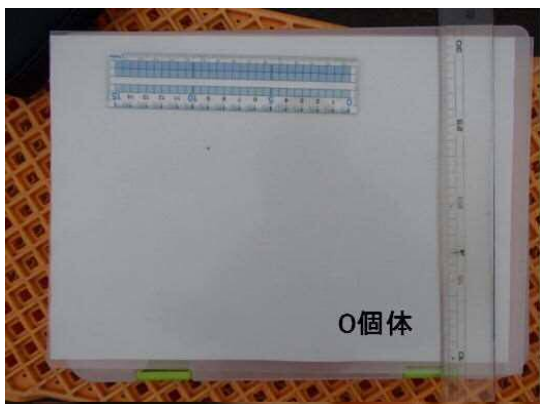


図6 アサリ採苗状況(4月)



図7 アサリ採苗状況 (10月)



図8 網袋と親貝の再設置 (3月)